

## ごあいさつ



取締役頭取

大城 勇夫

皆様には、平素より、琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。本年も、多くの皆様に琉球銀行をより一層ご理解いただくために、「琉球銀行の現状」(2004年版 ディスクロージャー誌)を作成いたしました。

最近の金融機関を取り巻く経済情勢は、大企業の業績を中心に明るい兆しがみられますが、地域経済とりわけ中小企業の業績が本格的に回復するまでには、依然として課題が残る状況といえます。

こうした中、琉球銀行は、昨年8月に策定した「リレーションシップバンキングの機能強化計画」に基づき、中小企業に対する資金供給の円滑化や事業再生の支援などに全力で取り組むことで、中小企業金融の再生による地域経済の活性化と当行の健全性確保、収益性向上を同時に目指しております。

中期経営計画「Quality 2003」については、すでに一定の成果が上がっておりますが、最終年度となる平成16年度は、経営目標として掲げた「安定した収益基盤の確立」を確かなものとするため、「事業性融資の増強」、「開示債権の圧縮」、「個人総合取引の推進」、「業務品質の向上」に重点的に取り組んでまいります。

お客様の金融機関を選別する目は、今後一層厳しさを増していくものと予想されます。琉球銀行は、お客様との緊密な信頼関係の構築に努め、お客様の金融取引のすべてを任せていただける銀行、「まかせてバンク」を実現することで、地域および市場の信認に耐え得る強靱な経営体質を構築してまいります。

平成16年7月

経営方針

業績

リスク管理への取り組み

ニュース&トピックス

地域における琉球銀行

営業のご案内

店舗一覧

資料編